

令和6年度

三田市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：7名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の人への効果的な支援を行うために、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図る。

(令和6年度三田市認知症施策推進事業業務委託仕様書より抜粋)

- ①地域包括支援センター職員等の対認知症ケアのスキル向上及び認知症ケアに携わる多職種協働のための研修事業
- ②認知症関係の事業を実施する関係機関・団体等との連携
- ③地域の実情に応じて認知症の人やその家族を支える事業の実施

報告者氏名：寺坂梨沙 池田聡美

④その他

- ・ 認知症に関する正しい知識の普及啓発、地域支援体制構築等の企画調整
- ・ 認知症ガイドブック（ケアパス）の有効活用のための普及啓発及び改訂の検討 等

※R6年度～新規事業

⑤認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

チームオレンジコーディネーターを配置し、認知症の人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域において認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ**チームオレンジ活動を実施する。**

令和6年度

三田市 認知症施策全体図

令和5年1月1日「三田市認知症の人と共に生き支え合うまちづくり条例(略称:認知症共生条例)」を制定

三田市 高齢者支援課

認知症高齢者家族支援サービス

- ①GPS貸与 ②SOSネットワーク登録
- ③認知症個人賠償責任保険

相談・支援

情報共有

医療

認知症
対応病院

認知症
サポート医

認知症相談医

かかりつけ医

相談
援助
連携

認知症疾患医療センター
(兵庫中央病院)
【専門医療相談・鑑別診断】

専門医療の提供

医療の提供

在宅生活の支援

介護保険事業者:
居宅・地域密着
サービス等

- ・認知症対応型通所介護
- ・認知症対応型共同生活介護等

普及啓発・生活支援

市民・
ボランティア団体

- ・認知症サポーター
- ・認知症キャラバン・メイト
- ・認知症カフェ
- ・家族介護者の会
- ・権利擁護サポーター 等

連携

もの忘れ相談

初期集中支援チーム

相談・支援

相談・支援

三田市地域包括支援センター【基幹型】

※チームオレンジコーディネーター兼務

<認知症地域支援推進員 1名>

- ・認知症疾患医療センターとの連携、関係機関とのネットワーク構築
- ・もの忘れ相談・介護者交流会
- ・認知症サポーター、キャラバン・メイト養成講座の企画、開催
- ・若年性認知症支援の連携体制づくり
- ・認知症の個別相談、ケアパスの普及啓発
- ・タッチde脳の健康チェック
- ・認知症地域支援推進員の総括
- ・認知症地域支援推進員連絡会の開催
- ・認知症初期集中支援チーム(兼務)
- ・チームオレンジ立ち上げ支援 等

情報提供・支援

相談・事例提供

地域包括支援センター【6カ所】

<認知症地域支援推進員 6名>

- ・認知症の個別相談・他推進員との連携
- ・認知症理解のための普及啓発
- ・認知症カフェ立ち上げ支援
- ・認知症サポーター養成講座の開催 等

連携

- ・三田市権利擁護・成年後見支援センター
- ・障害者総合相談窓口「さいてネット」
- ・地域福祉支援員

チームオレンジに向けた取組

チームオレンジ立ち上げに向けた これまでの経緯

令和5年度チームオレンジステップアップ講座開催

⇒ 32名が参加

【内容】

チームオレンジとは何か？ 基幹型推進員による説明と、代表者による「宝塚チャレンジファーム」や「市内認知症カフェ」の活動紹介。

【受講者の意見】

- ・チームオレンジが必要な事は理解できたが、どんな形で動けるのかわからない。
- ・実際の活動を詳しく知りたい。
- ・超高齢化は深刻な問題で地域で担える仕事量には限界がある。
- ・担い手自身の高齢化が心配。



受講者へ活動の大切さは伝わったが、**実際の活動内容は不明瞭なまま…**



今年度はチームオレンジ実施に向けた**準備期間**として議論の場を設置。
令和7年度からのチームオレンジ立ち上げに向けて、三田市における
「チームオレンジ」の定義づけや認知症カフェに対する支援ツールを検討。

チームオレンジに向けた取組



チームオレンジのあり方ミーティング開催（年4回）

- ・市高齢者支援課・包括基幹型（基幹型推進員含む）でミーティングチーム発足。
内容検討チームと体制検討チームで検討内容を分担。令和7年度からの始動に向けて、三田市におけるチームオレンジ活動の方向性を検討する場を設置。
- ・地域住民の気運が高まりつつある認知症カフェ立ち上げに関して、立ち上げまでの課題解消に向け「認知症カフェ支援メニュー」作成を検討。
既存の認知症カフェや、カフェ立ち上げ中の活動者へ、推進員から活動への課題や活動継続につながるポイントを聞き取りニーズ把握につなげる。



①「三田市版チームオレンジ活動の手引き」作成

（三重県津市の活動内容を参考とし、津市へのヒアリングの場を設ける）

②「認知症カフェスタートアップ支援企画書」作成、チームオレンジ活動の手引きへ盛り込む

チームオレンジに向けた取組

活動の手引き作成の目的と大切にしたこと

【目的】

- ・認知症とともに誰もが安心して暮らし続けられる、認知症に優しい地域づくりを目指す。
- ・認知症の人やその家族がいきいきと自分らしい生活を送ることができる地域づくりの実現。
- ・認知症に関する既存の取組みや、地域での活動を基盤にして集約、一元化（一体感を持って取組む）。

【大切にしたこと】

- ・認知症サポーターの次のステップがわかりやすく明記されていること。
- ・何かやってみたい!という思いをつなげられる内容であること。

三田市全体で1チームを設置とする

チームの中で4つの活動グループに細分化している。ニーズに合わせた活動体制の構築に向けて推進員（チームオレンジコーディネーター）が支援。



三田市
チームオレンジ
活動の手引き
QRコード

チームオレンジに向けた取組

認知症カフェスタートアップ支援企画書の作成と推進員の連携

【企画書作成までのながれ】

- ・作成にあたりカフェ活動者の声を推進員が聞きとり。
- ・**認知症地域支援推進員連絡会（年4回定期開催）**にてチームオレンジ活動の手引き作成とともに、認知症カフェスタートアップ支援について共有。

認知症カフェ立ち上げに向けて、企画段階から推進員と活動者が協働するしくみとなるよう企画書作成を進める。

- ・どうしたら使いやすい企画書となるか？**推進員連絡会の場で協議。**

【スタートアップ（立ち上げから1年を目途）支援内容】

- ・企画書の「確認事項」に全て該当することが条件。
- ・初期消耗品、チラシ印刷代等を上限金額を設けて現物支給。推進員活動費を財源として、カフェ立ち上げに向けた準備を推進員が協働。
- ・市民団体だけでなく、事業所の社会貢献としての認知症カフェも含む。

(様式4)

認知症カフェ スタートアップ支援 企画書

名称	申請日 年 月 日		
代表者氏名			
連絡先	〒 〇〇〇 〇〇 〇〇 携帯: 〇〇-〇〇〇〇〇〇 自宅: 〇〇-〇〇〇〇〇〇 FAX: 〇〇-〇〇〇〇〇〇		
振替の 地域包括 支援センター	☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番) ☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番) ☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番) ☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番) ☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番) ☐ 〇〇 (〇〇・〇〇番)		
目的			
実施場所	実施日時		
実施内容 (簡単に)			

【確認事項】

① 認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れる場所である	☐
② 認知症の人同士の交流が深められる場所である	☐
③ 介護や医療についての情報交換ができる場所である	☐
④ 認知症の人とその家族の孤立を防ぐことができる場所である	☐
⑤ 認知症に関する知識の普及啓発活動を実施している	☐
⑥ 定時的（月1回以上）を開催をめている	☐
⑦ 「認知症カフェ」として市の広報や施設資料への記載がなされている	☐
⑧ 地域包括支援センターへ認知症カフェ立ち上げに向けた相談を行っている	☐
⑨ カフェスタッフが認知症サポーター養成講座・チームオレンジステップアップ講座を受講している (受講済 - 年度内に受講予定)	☐
⑩ 上記項目をすべて満たしている	☐

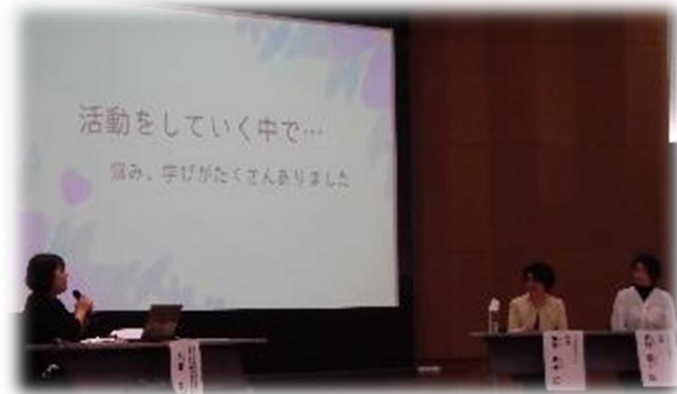
【備考】	受付日 発行日
------	---------



チームオレンジに向けた取組

三田市チームオレンジ活動の手引き 作成後の流れ

- ① 認知症地域支援推進員連絡会、地域包括支援センター連絡会にて三田市チームオレンジ活動の手引きを案内。関係機関への周知。
- ② チームオレンジステップアップ講座開催(12/6)。
三田市におけるチームオレンジの説明と活動の手引きを紹介。あわせて新たに立ち上がった認知症カフェ代表による活動の紹介。⇒40名が参加
- ③ チームオレンジステップアップ講座参加者とキャラクター・メイト登録者へ「チームオレンジ活動の手引き」「さんだ認知症あんしんガイドブック」「チームオレンジ入会申込書」「ボランティア保険申請書」を送付。
三田市地域包括支援センターへ設置の事務局にて受付・取りまとめ。
- ④ 認知症に関わる既存の活動団体へ、推進員からチームオレンジを紹介。



チームオレンジ
の輪が広がり
つつある



今後について

- ・認知症カフェスタートアップ支援を活用した認知症カフェの立ち上げ相談が現時点で1件あり。チームオレンジコーディネーターや担当地域の推進員と連携し、活動参加者が認知症サポーター養成講座を受講されるなどカフェ開催に向けて準備中。
- ・チームオレンジ加入者同士の交流会の開催。認知症への理解をさらに深める会であるとともに、活動者同士の交流を図ることにより新たな活動の創出につなげる。
- ・推進員（チームオレンジコーディネーター）が中心となり、認知症があるご本人（若年性認知症も含む）もチームオレンジの一員として活躍できる場、自分がやってみたいことを叶える場づくりに向けた活動。
（本人ミーティングや地域活動への参加等）
- ・推進員連絡会にてチームオレンジの理解促進を継続、三田市チームオレンジ活動の手引きの周知、普及に努める。

最後に・・・

認知症の普及啓発を継続する中で、認知症理解は進むものの、認知症のご本人や家族の声が反映された活動やつながり先が少ない現状が続いており、特に若年性認知症の人への社会資源が不足している。

チームオレンジを設置することにより、「ともに活動を楽しめる仲間を見つけることができた」「認知症に関連した活動が楽しい!」と思っていただけの人を増やしながら、“誰もが自分らしく暮らせる共生のまち”を目指していきたい。